

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公表番号】特表2018-509237(P2018-509237A)

【公表日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-013

【出願番号】特願2017-549693(P2017-549693)

【国際特許分類】

A 6 2 B 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 2 B 35/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月4日(2019.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのケーブルガイド通路を形成するハウジングと、

前記ハウジングに枢動可能に取り付けられた主アセンブリであって、前記少なくとも 1 つのケーブルガイド通路内にケーブルを配置することを可能とする開いた形態と、前記少なくとも 1 つのケーブルガイド通路内の前記ケーブルと係合する閉じた形態とを有するように構成され配置された主アセンブリと、

前記ハウジングが逆向きにある場合に前記主アセンブリの動きを選択的に制限するように構成され配置された逆さ取付防止爪と
を備えるケーブル移動器。

【請求項 2】

前記主アセンブリが、

前記ハウジングに枢動可能に取り付けられた少なくとも 1 つのカムアームであって、前記少なくとも 1 つのケーブルガイド通路内に配置された前記ケーブルと係合するように選択的に構成された第 1 の端部を有する少なくとも 1 つのカムアームと、

前記少なくとも 1 つのカムアームに枢動可能に取り付けられた少なくとも 1 つのアームリンクであって、前記閉じた形態と前記開いた形態とを形成するように前記少なくとも 1 つのカムアームに対して移動するように構成され配置された少なくとも 1 つのアームリンクと、

前記ハウジングが逆向きにある場合に、前記少なくとも 1 つのカムアーム及び前記少なくとも 1 つのアームリンクの互いに対する動きを選択的に制限するように構成され配置された前記逆さ取付防止爪と

をさらに備える、請求項 1 に記載のケーブル移動器。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つのカムアームが、第 1 のカムアームと、該第 1 のカムアームに対して平行な形態となっている第 2 のカムアームとを含み、

前記少なくとも 1 つのアームリンクが、第 1 のアームリンクと、該第 1 のアームリンクに対して平行な形態で離間して配置されている第 2 のアームリンクとを含み、

前記第 1 のカムアーム及び前記第 2 のカムアームが、前記第 1 のアームリンク及び前記第 2 のアームリンクに枢動可能に取り付けられている、請求項 2 に記載のケーブル移動器

。

【請求項 4】

前記第 1 のアームリンクが第 1 のアーム受入れ通路を有し、前記第 2 のアームリンクが第 2 のアーム受入れ通路を有し、前記逆さ取付防止爪が、前記第 1 のアームリンクの前記第 1 のアーム受入れ通路及び前記第 2 のアームリンクの前記第 2 のアーム受入れ通路内で摺動自在に保持されている、請求項 3 に記載のケーブル移動器。

【請求項 5】

前記第 1 のカムアームは、前記ハウジングが逆向きである場合に前記逆さ取付防止爪に係合するように配置されたストッパ部材を有する、請求項 4 に記載のケーブル移動器。